

国際栄養協力の活動経験 から見えてきたもの



カ丸 徹（りきまる とおる）

JICA国際協力専門員（国際栄養分野）

7月9日（水）15時～16時30分（1101教室）

途中入退室自由

途上国の栄養問題は未だに深刻な状況にあるが、実際にどのような取り組みがなされて来たのか。どのような成果があり、どのような問題が残っているのか。日本はどれだけ貢献してきたのだろうか。世界の栄養問題の改善にむけて日本は何をすべきなのか。これまでの自分の経験を通して感じたことや見えてきたことを紹介しながら、世界の栄養問題についてお話したいと思う。

★講演者プロフィール

2007～2011, イエメン母子栄養保健プロジェクト・チーフアドバイザー
イエメン保健人口省（栄養政策アドバイザー）

2005～2007, エジプトJICA事務所（保健・栄養分野広域企画調査員）

2002～2005, ネパール保健省・栄養部門（栄養政策アドバイザー）

1999～2001, タンザニア・食料栄養センター（栄養政策アドバイザー）

1995～1997, カリフォルニア大学・デイビス校国際栄養学プログラム

（客員研究員）

1985, 1989, 1993～1995, ガーナ大学（栄養学研究指導）

1980～1989, 東京都老人総合研究所（栄養学研究室・研究員）

1980修了, 徳島大学大学院栄養学研究科博士課程（保健学博士）